

橋爪伸恵議員

質問①

小中学生の学力と町営学習塾について

問 町長の公約であった町営学習塾はどうなっているのか。

答 まだ具体的に計画できていない。施設のある平取町の訪問、オンラインも検討したい。

問 町長は、塾の目的は学力の底上げではないと明確に述べられているが、全国学力・学習状況調査結果によると、様似小中学校とも全国平均を下回っている。考慮すべきではないか。

答 塾では中上位層の進学に向けた学力向上を優先し、下位層は学校での習熟度別指導や放課後学習で対応したい。

問 中学3年生で塾を待ち望んでいる生徒が何人いるか把握しているか。

答 具体的な需要、人数は把握していない。

問 子供の人数は少なく、目が届くはずではないか。お考えを教育長にお聞きしたい。

答 上と下の差が非常に大きく、授業は中間から少し下げたレベルで展開されているが、下位層がついていけないという状況にある。進学にあたり、中上位層の力を伸ばすための方策として学習塾をという考えである。

問 様似の子供たちのゲーム等に費やす時間は全国平均と比べて異常に多い。問題であり、しっかり取り組んで頂きたい。

答 学力低下の最大の原因だと認識している。保護者の理解とともに改善しなければ、家庭学習時間は伸びず学力の向上につながらない。目標が固まっていないのが要因と思われ、キャリア教育に力を尽くしたい。

問 町長のお考えはいかがか。

答 子供たちの夢の実現を手助けするのが大人の役目だと思っており、可能性を伸ばしてあげるという思いで学習塾の創設を目指したい。頂いた意見について真剣に取り組んでいきたいと思っている。

質問②

役場職員の副業解禁について

問 どの業種に何名の申請があったのか、推移をお聞きしたい。

答 町長の公約であり、申請手続きや許可基準を明確にし、7月から施行している。国の基準や事例に則り、活動範囲を非営利団体に限定しているが、基幹産業である農業漁業は例外としている。申請件数は昆布21件、苺の摘み取り2件、猟友会やスポーツ指導員等12件を含め実人数29人となっている。

問 具体的な成果についてお聞きしたい。

答 29人中21人は昨年以前から従事していた職員で、新規届出者は8人に止まっている。地域貢献活動への参加による職員の資質向上、4割の職員が町外出身者であり、地域とのつながり強化と働きやすい環境づくり、地場産業の振興が目指す成果と考えている。

問 町外出身者で実際昆布か苺の摘み取りに行った職員はいたのか。

答 全員様似町出身職員であった。

問 職員の資質向上や社会貢献が目的であれば、漁業農業に限定する理由が見えない。なぜ介護や教育関係など他の職種を検討しないのか。昆布漁や苺農家の人手不足解消の手助けであったとしても、これが持続可能な解決策になるとは思えない。ミスや不祥事が多発している中、職員に副業をする余裕があるのかという懸念もある。いかがお考えか。





答 勤務時間外での取組みなので、町側からは強制できず、職員に負担をかけない形で自発的なやる気を大切にしながら進めていきたい。年度末に活動報告の提出、アンケートを行い検討した上でその普及につなげていきたいと考えている。



鈴木隆議員

質問①

エゾシカ等の野生動物の駆除事業について

問 6月議会の一般質問において、被害状況が確定していないとのことでしたが、その後、被害状況は明らかになりましたか。

答 令和3年度の農業被害は面積で約177．5ha、金額で約1，300万円、内容は牧草が91％、イチゴなどが9％となっております。

問 令和3年度の駆除事業費は45，555千円とのことでしたが、費用対効果分析はどうなっていますか。

答 費用対効果分析については、行ったことはありませんが、ここ10年間を見ますと約2千万から1千万の横ばいとなっております。

問 被害の割には駆除事業費が掛かりすぎであるという認識はありますか。また農家さんの被害調査を郵送で求めていますが、その精査はしているのか。

答 国、道からの補助金が出ており、町自体の持ち出しは被害額以内に収まっている。

精査については、農家の売り買いする牧草の値段も違うので精査は難しい。また連絡のこない農家さんには、電話連絡等で確認を行っている。

問 今後もこの事業は続けていく考えですか。

答 事業が日高管内の広域的な事業の性格上、町単独で抜けるわけにはいかないので、これからも進めていきたいと思います。

質問②

町内の公共トイレについて

問 町内で唯一、通年で開設している駅前さわやかトイレですが、和式を洋式に変えて使用させる考えはありますか。また内外装とも傷んできていますが、改修する計画はありますか。

答 今後駅周辺整備計画ができますので、現状の別棟の建物から駅舎等の内部に設置する考えですので、今のトイレの改修は考えていません。

問 町内で9か所、設置されているトイレのうち、和式31か所、洋式27か所が設置されているが、洋式トイレに変更する計画はありますか。

答 和式トイレを洋式化するには、各施設の改修に併せて洋式と和式の比率を見直していきたいと考えています。

問 高齢化が進んで足腰に負担がかかる和式トイレは止めて、洋式に変えるべきではないかと考えますがいかがですか。

答 すべて洋式化というところについては、もう少し利用状況、又施設の管理状況等々を見ながら、感染対策にも配慮しながら、対応していきたいと思っております。

問 新型コロナウイルス感染症対策は。

答 町内の公共トイレには消毒用アルコールを設置させていただいておりますので、手指消毒を行っていただきたい。

質問③

西町・親子岩ふれ愛ビーチについて

問 センターハウス内のシャワーは、お湯が出なくて水シャワーですが、改善するつもりはありますか。

答 年度内には修繕いただき、来年のオープン時には温水シャワーで使用できるようになります。

問 和式トイレが18か所のうち10か所、約半分の設置ですが、これを洋式に改める必要があると思いますが、その考えはありますか。

答 センターハウスを整備して20年以上が経過しているので、改修の際には洋式を増やすことも検討し、要望していきたい。

問 北海道で設置したセンターハウスと聞いていますが、この3階建ての建物の当初の目的はどのようなことを想定して設置したのでしょうか。また利用状況は把握していますか。

答 海水浴場利用者の更衣室やシャワー設備など、利便性を高めるもののほか、津波の際の緊急情報伝達と避難施設を兼ねて設置しているものです。2階については緊急避難場所として設置されています。

利用状況はこの夏、海水浴は5，500人ほどの入込ですので、おおよそ5千人と考えています。